

# 統計学

(Statistics)担当教員名:准教授 葛城 大介

## 【概要】

統計学は、公衆衛生学、遺伝学や疫学等の専門科目の領域において重要な役割を担うものです。また、新薬や新しい治療手段の評価のためにも、その手法は重要なものとなります。限られた講義時間の中では、いろいろな統計的解析法の1部しか説明できませんが、代表的でかつ基本的なものを説明していきます。高校数学Cの知識を前提とせずに、また、なるべく複雑な数学は避けて、講義を進めていきます。しかし、どうしても、数学C以外の高校数学や昨年度履修した微分学・積分学の知識を必要とする場合がありますので、苦手な人は適宜復習するなり質問にくるなり、してください。

## 【授業の一般目標】

いろいろな統計的用語や基本的な統計的手法の意味を理解し、どのようなときにどのような検定を行っていくかを習得する。

【成績評価方法・基準】定期試験および教材プリントの解答の提出。

## 【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

毎回の講義において、関数電卓を持参してくること。

質問等に関しては、葛城研究室（南校舎4階）または教育準備室（南校舎3階）に来ること。